

5. 北部地区

緑の目標・方針

立田山、北部台地等の斜面林を背景に、八景水谷の豊かな湧水、静かに流れる坪井川を中心とした、ゆとりのある緑豊かな街を創ります。

<緑の配置方針>

○（北区域）北部台地の緑と一体になった緑づくり

坪井川、井芹川沿いに連なる北部台地の斜面林を保全するとともに、開発が進む地区では積極的な法面緑化を図る等、台地の緑が広がる街を創ります。

○（南区域）立田山とつながる緑づくり

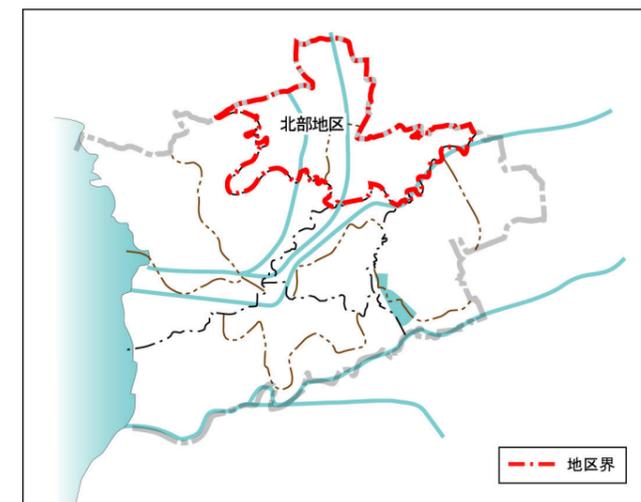
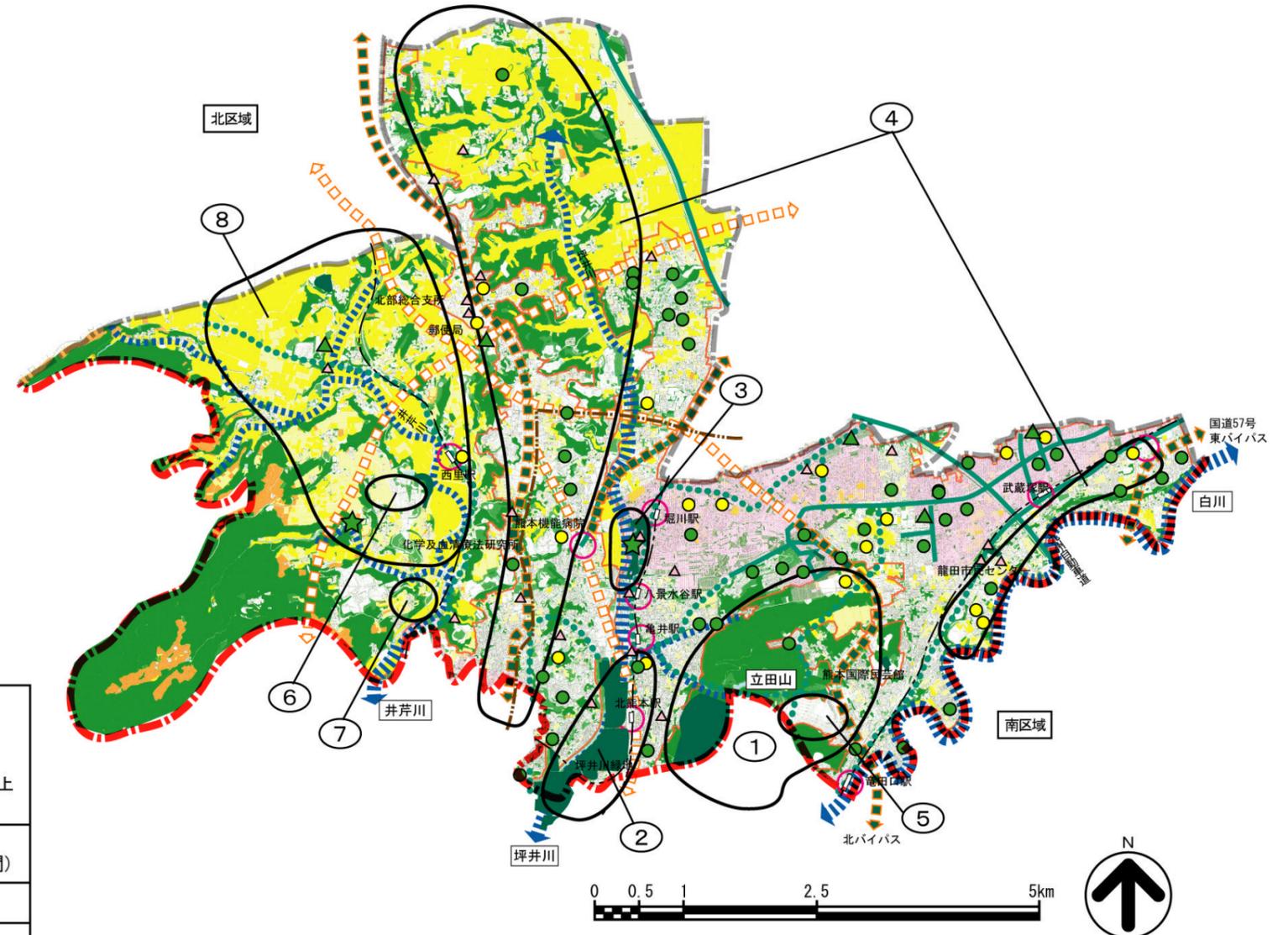
身近な自然環境の保全・育成や緑の*オープンスペースの確保に努めるとともに、民有地の緑化を推進し、生活環境の中に自然がいきづく立田山から連なる緑の街を創ります。

北1	立田山やふれあいの森の利用促進
北2	坪井川緑地の整備
北3	八景水谷の湧水の保全
北4	京町台地、北部台地、白川河岸段丘の斜面樹林の保全
北5	区画整理地区の緑豊かな住環境づくり
北6	フードパル熊本の緑化推進
北7	釜尾古墳の保全
北8	井芹川沿いの農地の保全

住区基幹公園	
●	街区公園
▲	近隣公園
★	地区公園 ※1,000平方メートル以上を図示
—	街路樹の整備と育成 (●●●●●● は街路樹のない区間)
●	学校の緑化推進
▲	公共施設の緑化推進
■	緑の少ない校区の緑化推進
○	交差点・駅周辺などの緑化推進
■	良好な樹林の保全 (現況) 環境保護地区 2.6ha 保存樹木 106本
■	水田
■	畑地
■	果樹園
■	農地の保全と活用

地区の現況

本地区は熊本市の北東部に位置し、京町台地の縁辺の斜面地には比較的にまとまった樹林地が存在しています。また、立田山にはヤエクチナシ自生地をはじめ、自然豊かな緑地があり、野鳥等、多くの身近な生物の生息地となるとともに、市民の憩いの場所となっています。ただ、最近ではバイパスの一部開通によって宅地化が進んでいます。



凡例

■	使用している住区基幹公園以外の都市公園
■	草地
■	水域
---	市域
---	地区界
---	区域界
---	市街化区域界